

■市長から市民のみなさんへ

山陽小野田市長
白井 信文



■夢の教室

日本サッカー協会では、平成20年ころから、サッカーだけでなく各種スポーツの現役やOB（それも国内トップレベルの人材）を講師として全国各地の小中学校に派遣し、「夢の教室」と呼ばれる授業を開き、子どもに夢を持つことの素晴らしさ、そして夢の実現に立ち向かう強い気持ちを育てるお手伝いをしています。

本市も今年の6月、日本サッカー協会との間で、県下で最初の「夢の教室」開催に関する協定を結び、早速同月12日から7月14日まで、市内全中学校で2年生を対象に合計20回、10人の「夢先生」による「夢の教室」を開いてもらいました。

本市に来てくださった「夢先生」は、社会人野球女子監督兼選手、元女子バレーボール日本代表、元サッカー日本代表、レスリング銀メダリスト、元キックボクサー、元Jリーガー、元プロ野球選手、元女子サッカー日本代表、元ハンドボール日本代表、元ボクシング世界チャンピオンのみなさん方でした。

どの「夢の教室」も、生徒たちを大変満足させてくれたそうです。

8月中旬、各学校の校長、教頭、担任等のアンケートが集まりました。印象に残ったものの一部をご紹介します。

- 日本代表のアスリートの方と身近に接することができ、子どもたちも感動していました。

また、頂点に立つまでのたゆまない努力、話を聞いて、子どもたちも感じるものがあつたようです。ぜひ、来年度も実施してほしいと思います。

- アスリートと呼ばれる人との直接的な触れ合いは、未来を担う中学生にとって大きな夢や希望を育ませるとても良い機会でした。特に同じ内容でも我々教員が伝えるのと、アスリートが伝えるのでは言葉の重みが違うと痛感しました。
- 一流のアスリートがどのようにして成功したか、また、どのようにして挫折を乗り越えていったかを、生の声で聞けるのは素晴らしいことでした。
- 普段見られない生徒の一面を多くみられ、大変良かったと思います。
- 挫折や失敗などの体験談から、努力することの大切さを生徒に伝えていただき、大変感動的な授業でした。来年度以降も、ぜひ続けていただきたい。



厚陽中学校での様子
夢先生は社会人野球女子監督 片岡安祐美さん（写真右）